

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

公益社団法人神奈川県介護福祉士会

②施設・事業所情報

名称：しらかば逗子乳児保育園	種別：地域型保育事業（小規模保育A型）	
代表者氏名：七海 慶子	定員（利用人数）：19名	
所在地： 逗子市池子2-3-42		
TEL： 046-854-9570	ホームページ：	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2017年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人誠心会		
職員数	常勤職員： 5名	非常勤職員 3名、パート 5名
専門職員	（専門職の名称）	名
	保育士 7名	栄養士（兼務 1名）
	調理員 4名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	3部屋	調乳室、沐浴室、トイレ、調理室

③理念・基本方針

基本理念：みんないっしょの教育・保育・福祉

基本指針：・子どもの育つ力を支援する。

・優しさと思いやりの心を育む。

・子ども、保護者、保育者の三者一体で育て、慈しむ気持ちを育む。

・給食は手作りで、美味しく感謝の気持ちで食す。

④施設・事業所の特徴的な取組

〇〇、1、2歳児の乳児を対象とした小規模の保育所として、子どもたち一人ひとりの発達に合わせ、スキンシップを多く取りながら、個性や性格に配慮した保育を実践している。各クラス10名までの小規模保育所の特性を活かし、その日の一人ひとりの状態を確認しながら、きめの細かい保育を行っている。

〇離乳食から完了期まで、保護者や栄養士、調理員、保育士の間で細かな連携を取りながら、一人ひとりに合わせた食事を提供している。初めて口にする食材は、アレルギーに配慮して、2回以上家庭で食べてもらってから、離乳食の新しい食材として取り入れている。2歳児は、「噛むこと」を身に付けられるよう、大きさや硬さについても、一人ひとりに合った形態で提供している。

〇食育に力を入れている。法人全体の方針として、昔ながらの安心できる食材を使った食事を提供し、麦ごはんや野菜を豊富に取り入れた献立としている。野菜を栽培、収穫して、子どもたちが野菜に興味を持つことができるよう働きかけている。子どもたちのクラス名も「なめこ」や「らっきょう」等、昔ながらの食材の名前を使用している。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年9月1日（契約日）～ 令和2年2月3日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（年度）

⑥総評

<p>◇事業所の特色や努力、工夫していること、事業所が課題と考えていること等</p> <p>○〇、1、2歳児の乳児を対象とした小規模の保育所として、開園して3年目を迎えている。隣接市に認定こども園（以下、本園）があり、本園と連携して、「みんないっしょ」の保育を実践している。</p> <p>○月1回開催する職員会議には、本園の園長が参加して、法人全体の考え方や運営状況等を職員に伝えている。本園の園長と職員の個別の面接も、年1回、定期的に行っている。</p> <p>○保育所保育指針に基づき「全体的計画」を作成し、「指導計画」やすべての子どもの発達に応じた「個別計画」を策定している。計画は定期的に見直しを行っている。乳児は成長に個人差があるため、一人ひとりの発達の状況や健康状態を全職員が把握して、子どもたちに関わっている。</p> <p>○乳児を対象とした保育所であるため、生活や遊び、食事等すべての面で、子どもたち一人ひとりの発達に応じた関わりを行っている。言葉が未熟な子どもの話に耳を傾け、声掛けを多くしている。また、楽しくトイレトレーニングが行えるよう、トイレ内を可愛らしく飾り、子どもたちの意欲を引き出すようにしている。</p> <p>○園内に月齢に合ったおもちゃや絵本等を揃え、園庭には砂場を作り、滑り台やトランポリン等の遊具を置き、芝生の上で十分に遊ぶことができる環境を整えている。子どもたちはおもちゃ類を口に入れることが多いので、毎日消毒を行い、園内外とも安全に配慮した環境としている。天気の良い日は公園まで散歩し、子どもたちはのびのびと活動している。</p> <p>○3歳を迎えると、近くの保育園や幼稚園に移っていくことになる。子どもたちは、各クラス10人の小規模の園から、大きな規模の園に移っていくため、個々の関わりから、全体を通しての関わりを意識して行っている。子どもたちがスムーズに移行でき、新しい環境に慣れることができるよう、身の回りのことを自分で行うことができるよう、取り組んでいる。</p> <p>○保護者とは「育児日記」にて、毎日の家での様子や保育所での様子を報告し合い、家庭との連携を密に取っている。また各クラスのホワイトボードに、今日一日の活動を記入し、保護者に伝えている。子どもの登園、降園時には、できるだけ多く話ができるようにしている。ブログでも活動内容を伝えている。</p> <p>◇独自項目への取り組み</p> <p>○事業所におけるサービスの質の向上のためのシステムを確認する「発展的評価項目」に取り組んでいる。「バランスのよい食事」をテーマとして、取り組みの過程をPDCA（計画、実践、評価、改訂）に分け、実践を振り返っている。子どもたちと一緒に野菜を栽培したことで、野菜への興味が深まり、口に運ぶことができたとの成果も見られている。課題も確認できたことから、継続した取り組みとしている。</p>

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価、訪問調査とありがとうございました。

この度、第三者評価を受けるにあたり、不安と心配がありました。

子どもたちとの日々の生活の中で、保育理念、指針に基づきながら、子どもたち一人ひとりに合わせた保育を全職員で一丸に取り組んでいます。また新設して3年目ということもあり、職員間で試行錯誤しながら取り組んでいることもあるのも事実です。

訪問調査結果を閲覧して、細かく見ていただいたことと、目指している保育において、課題がわかったことなど、さまざまな気づきを得ることができました。

今後も、小規模事業保育所の特色を活かして、子ども一人ひとりと向き合い、見守りながら、子どもたちが安心、安全な環境の中で、のびのびと健やかに、笑顔があふれるよう、全職員で基本理念、方針を基に努力していきたいと思えます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり